

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 壮瞥町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数: 小学校1校・児童数12名、中学校1校・生徒数15名

○ 実技に関する調査の状況

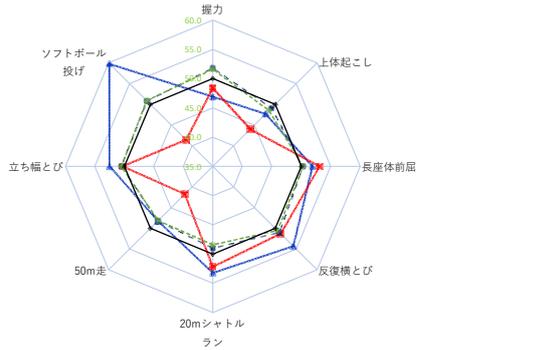
・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び壮瞥町の状況

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7壮瞥町男子	46.9	47.7	51.9	54.3	53.2	48.2	52.5	59.8	52.0
R7壮瞥町女子	48.4	44.0	53.1	51.3	52.2	41.7	50.3	41.4	46.7
R7北海道(公立)男子	51.8	49.1	50.3	51.0	49.0	48.2	50.5	50.8	50.0
R7北海道(公立)女子	51.6	48.5	50.3	50.5	48.4	48.1	50.5	50.9	49.5

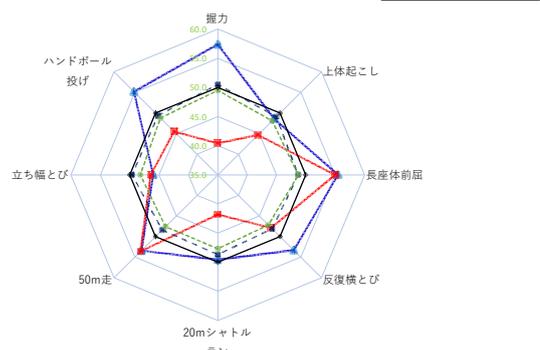
・全国及び壮瞥町の状況をレーダーチャートで表示

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7壮瞥町男子	57.4	48.6	55.5	53.3	49.6	53.4	46.0	55.2	52.0
R7壮瞥町女子	40.4	44.7	55.0	47.9	41.8	53.6	46.4	45.5	45.7
R7北海道(公立)男子	50.5	49.1	48.7	48.1	48.7	48.4	49.6	49.4	48.8
R7北海道(公立)女子	49.5	48.1	48.7	47.2	47.7	47.6	48.2	48.8	47.6

小学校



中学校

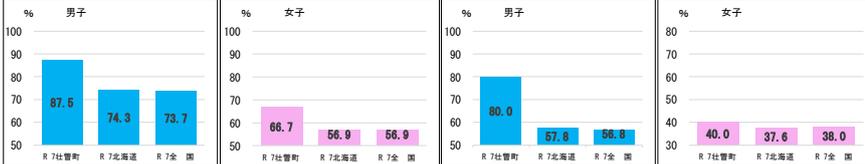


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

・体育の授業は楽しい



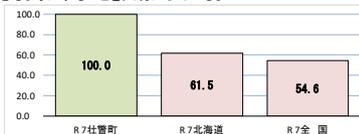
【児童質問調査】

・体育の授業で、進んで学習に参加している



【学校質問調査】

・体育の授業では、自ら工夫して練習やゲームができるようにすることを大切にしている。



中学校

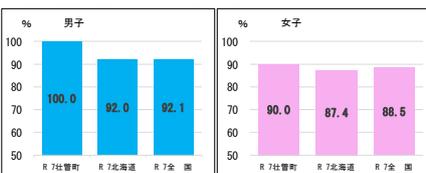
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しい



【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、進んで学習に参加している



中学校

・保健体育の授業では、自ら工夫して練習やゲームができるようにすることを大切にしている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育の授業において自ら工夫して練習やゲームができるようにする指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・学校が、運動やスポーツが苦手な児童の実態に応じ、運動課題を段階的に準備したことにより、体育の授業で進んで学習に参加していると回答した児童の割合は高いが、女子の体力合計点が全国及び全道を下回っていることから、苦手な児童に対し、授業中にコツやポイントを重点的に教えるなど、運動やスポーツが苦手な児童に対する取組を充実させる必要がある。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業において継続的に自ら工夫して練習やゲームができるようにする指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・学校が、運動やスポーツが苦手な生徒の実態に応じ、その生徒に合った場やルール等で行えるようにしたことにより、進んで学習に参加していると回答した生徒の割合は高まった。一方、女子の体力合計点が全国・全道平均を下回っていることを踏まえ、3年間の計画的な取組のもと、毎時間の活動を充実させ、ICTの活用や地域資源を取り入れた活動を通じて、支援の充実を図る必要がある。

■ 壮瞥町の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の推進
- ・少年団活動やスポーツクラブ等、地域と連携した体力・運動能力の向上の取組の推進
- ・キッズスポーツクラブ等、幼児期からスポーツに触れる事業の継続
- ・学校と連携した社会体育事業の実施
- ・スキー、雪合戦など地域の特性を生かしたスポーツ活動の推進